



奈良県経済の概況

新型コロナウイルス感染症の影響が全般に広がり、厳しい状況

個人消費 百貨店・スーパー販売額は前年同月比7か月連続の減少

住宅着工 新設住宅着工戸数は前年同月比2か月ぶりの減少

公共投資 公共工事請負金額は前年同月比2か月連続の増加

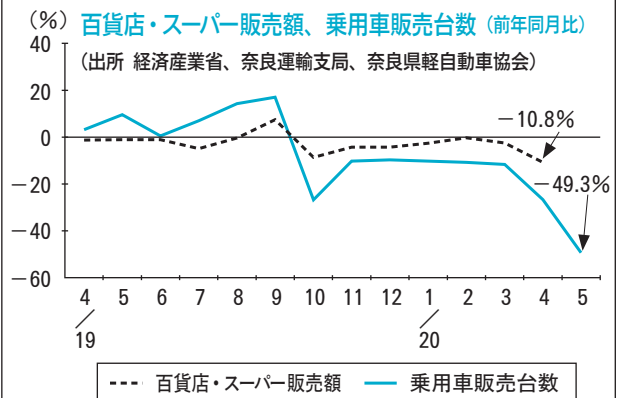
雇用情勢 有効求人倍率は前月比0.08ポイント低下の1.32倍

企業倒産 倒産件数は3か月ぶりの一桁台

生産活動 鉱工業生産指数は前月比3か月ぶりの上昇

1 個人消費

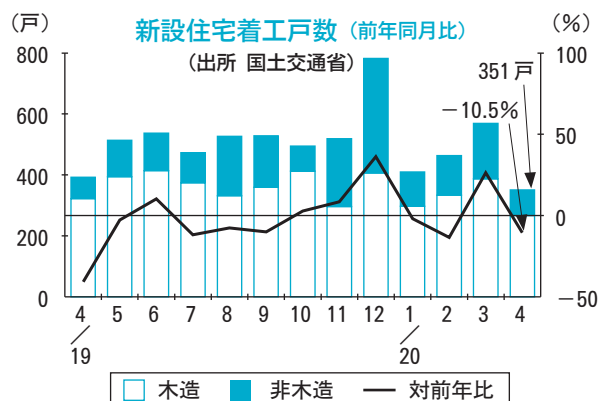
百貨店・スーパー販売額は前年同月比7か月連続の減少



- 4月の百貨店・スーパー販売額（速報値、全店ベース）は前年同月比10.8%減の157億66百万円となり、7か月連続の減少。
- 5月の乗用車販売台数は前年同月比49.3%減の1,807台と、8か月連続の減少。普通乗用車は同50.8%減、小型乗用車は同33.8%減。軽乗用車は同59.1%減となった。

2 住宅着工

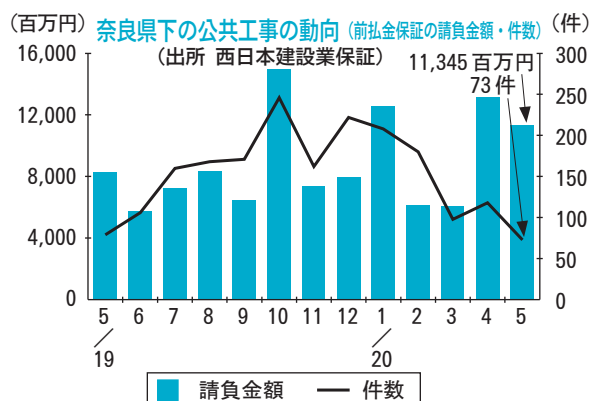
新設住宅着工戸数は前年同月比2か月ぶりの減少



- 4月の新設住宅着工戸数は前年同月比10.5%減の351戸と、2か月ぶりの減少。
- 利用関係別にみると、持家は同5.8%減の196戸と3か月ぶりの減少、貸家は同60.0%増の80戸と6か月連続の増加、分譲住宅は同44.4%減の74戸と2か月ぶりの減少となった。

3 公共投資

(西日本建設業保証の保証取り扱い)
公共工事請負金額は前年同月比2か月連続の増加

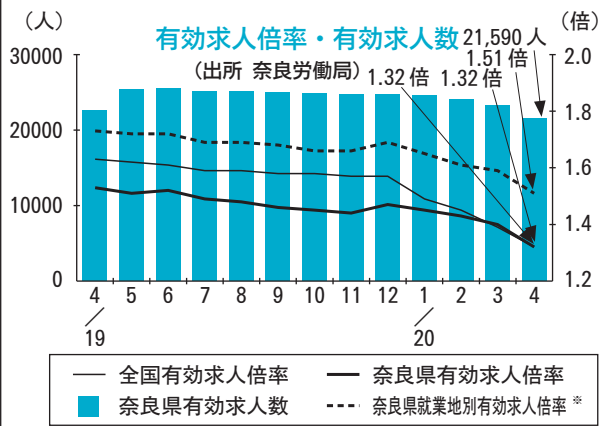


- 5月の公共工事請負金額の動向をみると、全体では前年同月比36.6%増の113億45百万円と、2か月連続の増加。
- 発注者別にみると、国は同89.5%増、県は同26.4%減、市町村は同48.6%増。

4

雇用情勢

有効求人倍率は前月比 0.08 ポイント低下の 1.32 倍



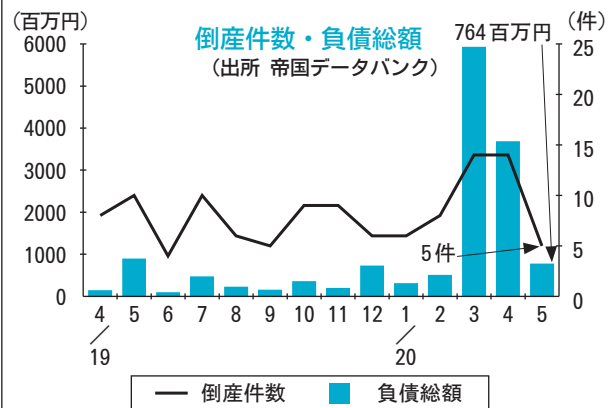
*実際の就業地が奈良県内の求人の倍率

- 4月の有効求人倍率（季調値）は前月比 0.08 ポイント低下の 1.32 倍となり、4か月連続の低下。前年同月比は 0.21 ポイント低下。
- 新規求人倍率（季調値）は、前月比 0.25 ポイント低下の 1.88 倍と 2か月連続の低下。前年同月比は 0.44 ポイント低下。

5

企業倒産

倒産件数は 3 か月ぶりの一桁台

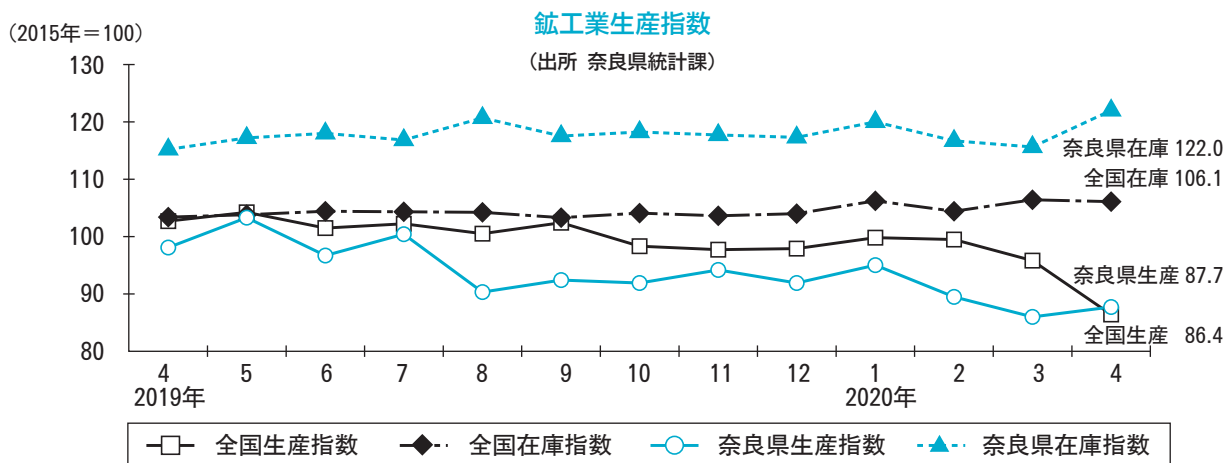


- 5月の倒産状況をみると、件数は前年同月比 25.0%増の 5 件となり、3か月ぶりの一桁台。負債総額は同 855.0%増の 7 億 64 百万円と 5か月連続の増加。
- 業種別では、製造業が 4 件、サービス業が 1 件。倒産形態では、自己破産が 4 件、民事再生法が 1 件であった。

6

生産活動

鉱工業生産指数は前月比 3 か月ぶりの上昇



- 4月の鉱工業生産指数（季調値、速報値）は、前月比 2.0%上昇の 87.7 となり 3か月ぶりの上昇。原指数は前年同月比 10.6%低下の 86.9 となり 11か月連続の低下。在庫指数は前月比 5.5%上昇の 122.0 となり 3か月ぶりの上昇。
- 業種別生産指数の動きは、プラスチック製品工業、化学工業、木材・木製品工業等の 8 業種が前月上昇となる一方、輸送機械工業、電気機械工業、汎用機械工業等の 9 業種が同低下。